授業科目	論理学	担当教員	非常勤講師 稲生　勝	単位数	1	時期	1年次 4月~6月
				時間数	３０		

目的と目標	
	論理的なものの見方、考え方、表現する力を養うことができる。 １　論理的な考え方を学ぶ。 ２　論理的に自分の考えが表現できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1 2	論理的に考えるとは	（1）論理的思考とは （2）論理的に考えることができる人とは	講義	非常勤講師 （稲生勝）
3 4	接続関係	（1）様々な接続関係 （2）接続関係の構造 （3）議論の組み立て	講義	
5 6 7	論証	（1）論証の構造評価 （2）演繹と推測 （3）価値評価立て （4）論証の構造 （5）論証の評価	講義	
8 9	演繹	（1）否定 （2）条件構造 （3）推論の技術	講義	
10 11 12	論理的に書く	（1）レポート作成	演習	
13 14	論理的に話す	（1）ディベート	演習	
15	試験（1時間） まとめ（1時間）	（1）筆記試験 （2）まとめ	試験 講義	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	講義資料を配布
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと

授業科目	情報リテラシー	担当教員	非常勤講師 伊藤　昭 安田　成臣	単位数	1	時期	1年次 １０月~１２月
				時間数	３０		

目的と目標	
	情報とは何かを学び、医療従事者として適切に情報を取り扱うことができる。 １　情報モラルを身につけることができる。 ２　ソーシャルメディアを活用した情報収集・情報活用が適切に行える。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	コンピュータとインターネット	コンピュータとインターネットの基礎知識を学ぶ	講義	非常勤講師 (伊藤昭)
2	著作権・セキュリティとプライバシー	ネットワーク社会のルール、セキュリティとプライバシーのリテラシーを学ぶ	講義	
3	情報科学入門	ネットワーク社会の基礎となる情報科学について基礎知識を学ぶ	講義	
4	統計の基礎	情報化社会に対応したデータとして、統計学の基礎を学ぶ	講義	
5	確率と推定	様々データを基に、科学的な「推定」を行うための基礎知識を学ぶ	講義	
6	情報科学の未来	情報科学の現状と将来について学ぶ	講義	
7	ワード演習１	ワードの基本を学び資料を作成する	演習	
8	ワード演習２	図表を含めたワード文書を作成する	演習	
9	エクセル演習１	エクセルの基礎を学び、表を作成する	演習	
10	エクセル演習２	表計算の機能を用いて、統計データを処理する	演習	
11	エクセル演習３	エクセルとワードを連携して資料を作成する	演習	
12	パワーポイント演習	パワーポイントで発表資料を作成する	演習	
13 14	看護・医療と情報システム	（１）看護師の意思決定と情報 （２）医療における情報の記録 （３）医療情報の電子化と医療情報システム （４）病院情報システム、電子カルテシステム	講義	非常勤講師 (安田成臣)
15	試験（１時間） まとめ（１時間）	（１）筆記試験 （２）まとめ	試験 講義	非常勤講師 (伊藤昭)

評価方法	筆記試験（50 点）、演習レポート（50 点）
教科書 参考文献	30 時間アカデミック情報リテラシー　office 2019 講義資料を配布、系看　別巻　看護情報学（医学書院）
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと

授業科目	成長と学びⅠ	担当教員	専任教員	単位数	１	時期	１年次 ４月~３月
				時間数	３０		

目的と目標	
	他者との協同学習を通して、自己の考えを明確にし、他者の考えに関心が持てる。 １　学校で生活する上での基本的ルールを理解し習得できる。 ２　自己の特徴を知り、他者と協同作業を行う上での自己の役割を認識し行動できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	看護学を学ぶとは	（1）看護って何？ （2）実践知の習得をする （3）主体的な学び	2 年生と合同	専任教員 （　　）
2	自分が目指す看護	（1）ビジョンとゴール （2）目指すべき姿に近づくための方法	講義 演習	
3	学びの方法	（1）アクティブラーニング （2）リフレクション ①理論と実践をつなぐリフレクション ②省察すること （3）レポートの書き方 ①レポート記載のルール ②レポートを書いてみよう （4）自己学習の必要性 （5）課題学習の進め方	演習 演習 講義 演習	
4 5 6	今年度のテーマの決定	（1）自分たちのテーマへの取り組み計画 （2）役割分担 （3）行動計画	演習 ２年生と合同	
7 8 9 10 11	グループテーマへの取り組み	（1）各グループで計画にそって学習する		
12 13	プレゼンテーション準備 発表	（1）学んだ内容をまとめる （2）学んだ内容について評価・修正する （3）学びのプレゼンテーションの準備		
14	まとめ	（1）次年度の学生に伝えたいこと ①看護って何？ ②看護を学ぶために何を学習するの？	演習 １年生のみ	
15	評価	（1）学びのプレゼンテーション	発表会 ２年生と合同	

評価方法	レポート、プレゼンテーション、グループワークの参加状況
教科書 参考文献	講義資料を配布
事前準備や 受講用件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する

授業科目	成長と学びⅡ	担当教員	専任教員	単位数	1	時期	２年次 ４月~３月
				時間数	３０		

目的と目標	
	目指す看護師像に近づくための自己の課題を明確にできる。 １　１年次の学びを生かし、リーダーシップを発揮できる。 ２　自己の特徴を知り、他者と協同作業を行う上での自己の役割を認識し行動できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1 2	看護って何	（1）１年間学んだ自己の看護を１年生にプレゼンテーション	講義	専任教員 （　　）
3	自分が目指す看護	（1）ビジョンとゴール （2）目指すべき姿に近づくための方法	演習	
4 5 6	今年度のテーマ決定	（1）自分たちのテーマへの取り組み計画 （2）役割分担 （3）行動計画	演習 １年生と合同	
7 8 9 10 11	グループテーマへの取り組み	（1）各グループで計画にそって学習する	演習	
12 13 14	プレゼンテーション準備	（1）学んだ内容をまとめる （2）学んだ内容について評価・修正する （3）学びのプレゼンテーションの準備	演習	
15	評価	（1）学びのプレゼテーション	発表会 ２年生と合同	

評価方法	レポート、プレゼンテーション、グループワークの参加状況
教科書 参考文献	講義資料を配布
事前準備や受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する

授業科目	医療コミュニケーション	担当教員	非常勤講師☆ 魚住　郁子	単位数	1	時期	３年次 ４月～５月
				時間数	１５		

目的と目標	看護における患者－看護師関係、看護師－看護師関係、看護師－コメディカル関係の関係性確立のためのコミュニケーションに必要な知識・技術・態度を身につける。 １　看護師間におけるコミュニケーションの必要性と方法が理解できる。 ２　患者との関係性を構築するための効果的なコミュニケーション方法が理解できる。 ３　多職種と良好な関係性を構築するためのコミュニケーションの方法が理解できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	看護師間におけるコミュニケーション	（1）看護師間での情報共有におけるコミュニケーション ①看護師間におけるコミュニケーションの必要性 ②SBAR の活用	講義 演習	非常勤講師 (魚住郁子)
2 3	関係を構築するためのコミュニケーション	（1）ロールプレイング 事例を活用し、事例に対しコミュニケーションを展開する	講義 演習	
4 5	闘病生活を支える人間関係の構築	（1）ロールプレイング 事例を活用し、事例に対しコミュニケーションを展開する	演習	
6 7	多職種間におけるコミュニケーション	（1）専門性を生かしたコミュニケーション （2）他職種とコミュニケーションをとるための留意点	講義	
8	試験			

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	医療コミュニケーション入門（星和書店）
事前準備や受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する
☆担当教員の実務経験	看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。

授業科目	グローバルヘルス	担当教員	専任教員☆ ① 非常勤講師 Jeff　Clapp 各務眞弓 レオナルド宮本	単位数	1	時期	３年次 ４月～１１月
				時間数	３０		

目的と目標	
	日本で暮らす外国にルーツのある人の医療・看護の課題を理解する。 １　外国にルーツのある人の特性がわかる。 ２　外国にルーツのある人への健康サービスの実際と課題について理解できる。 ３　外国にルーツのある人の身体的な状態を把握するためのコミュニケーションができる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1 2	日本及び居住地における外国にルーツのある人の理解	（１）日本に在住する外国にルーツのある人 （２）岐阜県に在住する外国にルーツのある人 （３）病気になった時に困ること	講義	非常勤講師 (各務眞弓)
3 4	外国にルーツのある人への健康サービス	（１）岐阜県における健康サービスの実際について （２）岐阜県における健康サービスの課題 （３）調べた内容についてプレゼンテーション	GW	専任教員 (　　)
5 6 7 8 9 10 11 12	健康状態を把握するためのコミュニケーション１（英語）	（１）外来受診時 （２）入院時の対応 （３）各症状（発熱、下痢、吐き気、嘔吐、頭痛）の確認方法	講義 演習	非常勤講師 (Jeff] Clapp)
13 14	健康状態を把握するためのコミュニケーション２（ポルトガル語）	（１）自己紹介 （２）挨拶 （３）ブラジルの医療状況について （４）症状の確認	講義 演習	非常勤講師 (レオナルド宮本)
15	まとめ（1 時間） 試験（1 時間）	（１）まとめ （２）筆記試験	講義	非常勤講師 (Jeff] Clapp)

評価方法	筆記試験（80 点）、レポート（20 点）
教科書 参考文献	講義資料を配布 Smart　Choice　Student　Book　4th　Edition（Oxford　University　Press）（5 回～11 回）
事前準備や受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する
☆担当教員の実務経験	①　看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。

授業科目	社会学	担当教員	非常勤講師 神戸　博一	単位数	1	時期	3年次 4月～7月
				時間数	３０		

目的と目標	人は社会との関わりなしには生きていけない。その社会を多角的にとらえる力を身につけたい。社会学は、社会人、職業人にとって基礎的な教養である。 　医療者は、人々の健康の保持、増進や回復と関わっている。そうした行為と社会とが密接な関わりと大きな影響力をもっていることを理解し、洞察する力をもち、医療行為において実践する力を身につけてもらいたい。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	成績評価、医療者にとっての社会学（はしがき）	1 試験について 2 社会とは、社会学の意味	講義	非常勤講師 （神戸博一）
2	近代社会の成立と社会学（序章）　1	A 序章 1 産業革命　　2 政治革命		
3	近代社会の成立と社会学 2	3 コントの社会学 4 古典的社会学		
4	社会学の体系	B 社会学の分類 C 医療社会学の誕生と発展		
5	健康と病気の社会格差（第 11 章）　1	A 社会格差と平等 1　階層　　2 階級		
6	健康と病気の社会格差　2	3 エスニシティ　　4 マイノリティ 5　健康格差		
7	健康と病気の社会格差　3 健康と病気の社会格差　4	B 社会格差の諸相 1　経済的状況　2 職業		
8	健康と病気の社会格差　5	3　教育		
9	健康と病気の社会格差　6	C 健康格差発生のメカニズム		
10	患者―医療者関係のコミュニケーション（第 9 章）1	D ヘルスリテラシー A コミュニケーション		
11	患者―医療者関係のコミュニケーション　　2	B 患者と医療関係		
12	社会学の基礎概念　　1	A 行為、社会的行為		
13	社会学の基礎概念　　2	B 相互行為、社会的関係、地位―役割		
14	社会学の基礎概念　　3	C 集団、組織、ネットワーク		
15	試験（1 時間） まとめ（1 時間）	まとめ・復習、試験	試験 講義	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	系看　基礎　社会学（医学書院）
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと

授業科目	文化人類学	担当教員	非常勤講師 石井　祥子	単位数	1	時期	3年次 4月～7月
				時間数	３０		

目的と目標	
	人間が創造してきた文化や異文化を学び、文化が人間のものの見方や感じ方、日常の行動、人間関係等にいかに大きな影響を及ぼしているかを理解する。異文化の理解を試みることが、自分自身の文化のより深い理解につながり、同時に様々な文化を持つ普遍性、共通性の認識に役立つことを理解する。 １ 文化の多様性と普遍性の存在を知る。 ２ 異なる文化を通して、自分自身についてよく知る。 ３ 文化人類学的なものの見方を看護に生かす。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1 2 3	文化人類学とは	①　自分化中心主義と文化相対主義 ②　マリノフスキーとフィールドワーク ③　モンゴルでのフィールドワーク	講義	非常勤講師 (石井祥子)
4 5 6 7	採集狩猟民のくらし	採集狩猟民の生活①アメリカ先住民の歴史と文化 採集狩猟民の生活②アイヌ民族の歴史と伝統文化 採集狩猟民の生活③アイヌ民族の現在の生活 採集狩猟民の生活④アフリカ・ムブティ族の歴史と文化・社会		
8 9	牧畜民のくらし	牧畜民の生活①モンゴル国の遊牧 牧畜民の生活②ベトウィン遊牧	講義	
10 11 12 13 14	さまざまなくらしと宗教	生活と宗教①イタリア・アルベロベッロの生活と宗教（キリスト教） 生活と宗教②インド・ナヤールの生活と宗教（ヒンドゥー教） 生活と宗教③ネパールの生活と宗教（チベット仏教） 生活と宗教④トルコの生活と宗教（イスラーム） 生活と宗教⑤韓国両班の生活と宗教（儒教）	講義	
15	試験（１時間） まとめ（１時間）	（１）試験 （２）まとめ	試験 講義	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	講義資料を配布
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する

授業科目	生涯人間発達学	担当教員	非常勤講師 益川　優子	単位数	1	時期	1年次 9月～12月
				時間数	３０		

目的と目標	人間の胎生期から老年期までの成長・発達について、身体的・心理的・社会的側面から学び、人間理解を深める。 1　現代の発達心理学の理論について理解する。 2　発達段階に応じた発達課題を理解する。 3　不適応には資質と環境の相互作用による人格形成上の問題があること、また、乳幼児期の親子関係と青年期の問題は関連していることを精神分析の見地から理解する。 4　現代社会の変化と心身の問題について考える。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	発達心理学の理解	発達とは 発達心理の意義と必要性	講義	非常勤講師 (益川優子)
2	人間と発達	人間の発達における共通性 発達に影響を及ぼす因子		
3	発達理論と歴史的展開	前成説と後成説 ロック・ルソーの理論	講義	
4	現代発達理論の理解	フロイトの理論　ゲゼルの理論 ボウルビイの愛着理論	講義	
5		ピアジエの理論		
6		レビンソンの理論　エリクソンの理論		
7	人間のライフサイクルにおける発達段階と発達課題	胎児期の心身の特徴		
8		乳幼児期の心身の成長と課題		
9		学童期の心身の成長と課題	講義	
10		思春期の心身の成長と課題		
11		青年期の心身の成長と課題		
12		成人前期・後期の心身の成長と課題		
13		老年期の心身の成長と課題		
14	総復習	これまでの学習内容の総復習		
15	試験(1 時間) まとめ（1 時間）	筆記試験 まとめ	試験 講義	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	看護のための人間発達学　（医学書院）
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと

授業科目	哲学	担当教員	非常勤講師 竹内　章郎	単位数	1	時期	３年次 ４月～１０月
				時間数	３０		

目的と目標	現代の「先進国」の支配的思想である新自由主義≒リバタリアニズムを、巷間理解されがちな経済・財政・政治次元に留まるものとしてのその把握を超えて、人間観や価値観、知識・認識論にまで浸透している思想・哲学として批判的に検討する社会哲学の授業です。哲学史・思想史を踏まえつつも、それらの学説解説よりも、現在の哲学的課題を重視します。配布する二種類の文書（テキスト『哲学塾　新自由主義の嘘』及び社会哲学講義レジュメ―――共に竹内がコピーして配布）及び講義資料にそった、伝統的な講義形式の授業です。配布の文書を精読してもらう必要があります。授業内容は、当初２～３回目までは、判りやすく単純に思える話ですが、徐々に皆さんには、やや複雑で面倒だと感じられる話になっていくと思います。

回数	学習課題	内　容	方法	担当教員
1	ガイダンス（資料Ⅰ、テキスト、レジュメ配布）】	この講義の狙いと講義の進め方、及び授業者の観点・立場などについて理解してもらう。	講義	非常勤講師 （竹内章郎）
2	私的所有権と市場秩序の普遍性（「第１、第２日」）	私的所有や市場秩序が物的財貨等々に留まらず、人間理解の根幹にも及ぶ点を考える。		
3	市場秩序の四ルールと公正（「第３日」、「第４日」）	ルール rule が「規則」かつ「支配」である点やルールの同一適用の公正・不公正を考える。	講義	
4	市民権[法]の不平等と社会権：「人権宣言」の問題性（「第５日」、資料Ⅱ）	市場秩序と親近性のある市民権[法]と社会権[法]との根本的相違を考え、新自由主義の市民権[法]依存を把握する。		
5	権利[法]の根拠と貨幣循環（「第６日」、資料Ⅲ）	市民権[法]と社会権[法]の根底に貨幣循環がある点を、社会権[法]の根拠と併せて理解する。	講義	
6	市場秩序の外部（第７日）	新自由主義が無視する市場外部性を理解する。		
7 8 9	新自由主義の概要とその批判（「第 8 日」、レジュメ）：レジュメを主題に	新自由主義が人間観・認識論にも及ぶ点を、新自由主義おける国家権力問題や新自由主義と優生思想との接続も踏まえ理解する。	講義	
10 11	英国経験論哲学と自由主義の「成果」	A.スミスの道徳感情論を参照して自由主義と新自由主義との相違を理解する。		
12	新自由主義者の発言	日本の新自由主義者の発言を理解する。		
13 14	新自由主義の克服 （「第 9～11 日」））	新自由主義の克服にとっての私的所有論の位置を能力の私的所有性と共同性から捉える。	講義	
15	試験（1 時間） まとめ（1 時間）	講義全体を纏めてもらう試験を行う	試験	

評価方法	筆記試験
参考文献と資料	哲学塾　新自由主義の嘘（岩波書店） 講義資料を配布
事前準備や受講要件等	教科書、配布した文献・資料を事前に熟読すること

授業科目	心理学	担当教員	非常勤講師 寺田　道夫	単位数	1	時期	1年次 4月～9月
				時間数	３０		

目的と目標	
	人間の心理や行動原理を学び、自己理解を深めるとともに、人間の心理的側面を理解する。 1「私が他者の心を理解する」メカニズムを理解する。 2「他者の理解」は、自分の中で起こることを理解する。 3「心」に興味があるということは、一人ひとりが異なることに興味があることを理解する。 4 行動を規定する要因を理解する。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	心理学を学ぶ	心理学とは、講義の概要、ふれあい実習	講義	非常勤講師 (寺田道夫)
2	心理学の歩み	ブント、フロイト、ウェルトハイマー、ワトソン、現代心理学の潮流		
3	感覚の心理	刺激閾と弁別閾、ものを見る仕組みと働き		
4	知覚の心理	物理的世界と心理的世界、錯視、立体視		
5	学習の成立	古典的条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習		
6	記憶の基礎	記憶術と健忘症、短期記憶と長期記憶		
7	思考の働き	問題解決のいろいろ、動作的思考と論理的思考		
8	動機づけ	生理的欲求、内発的欲求、社会的欲求		
9	情動と感情	情動の円錐モデル、情動の理論		
10	発達	初期経験の重要性、刻印づけとアタッチメント		
11	性格とは何か	性格のとらえ方（類型論と特性論）、性格の形成		
12	性格の測定	YG 性格テストをやってみよう		
13	対人関係の心理	対人認知、リーダーシップと組織		
14	嘘の心理	いろいろな嘘、嘘をつきやすい人、トラブルに巻き込まれないために		
15	試験（１時間） まとめ（１時間）	（１）筆記試験 （２）まとめ	試験	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	心理学　こころのはたらきを知る（サイエンス社） 配布資料
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと

授業科目	家族看護学	担当教員	非常勤講師☆ 市川　百香里	単位数	1	時期	２年次 ５月～７月
				時間数	１５		

目的と目標	
	看護の対象である家族を学ぶ意味がわかり、家族への看護を実践するための基礎的知識を学ぶ。 １　家族を看護することの意味が理解できる。 ２　家族の病気体験が理解できる。 ３　家族と援助関係を形成するための基本的姿勢が理解できる。 ４　家族へのアプローチ方法が理解できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	家族を看護するということ	（1）家族とは （2）家族のとらえ方	講義	非常勤講師 (市川百香里)
2 3	看護学における家族の理解	（1）家族像 （2）家族の強み （3）家族の病気のとらえかた・理解 （4）家族の苦悩、情緒的反応 （5）家族の生活への影響、療養のマネジメント （6）家族のニーズ （7）病気・病者・家族の様相	講義 講義	
4 5	家族と援助関係を形成する	（1）援助関係とは （2）看護者に求められる基本的姿勢 （3）家族エンパワメントを支援する （4）家族とのコミュニケーションにおける留意点	講義 講義	
6 7	家族への看護アプローチ	（1）家族のセルフケアの支援 （2）家族の役割調整 （3）家族関係の調整・強化、家族内コミュニケーションの活性化 （4）家族の対処行動や対処能力の強化 （5）社会資源の活用	講義	
8	試験	（1）試験	試験	

評価方法	筆記試験 100 点
教科書 参考文献	家族看護学（MC メディカ出版）
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと
☆担当教員の実務経験	家族支援専門看護師として勤務した経験を活かした授業展開をする。

授業科目	体育	担当教員	非常勤講師 梶田　徳子	単位数	1	時期	３年次 ４月～１２月
				時間数	３０		

目的と目標	
	身近な競技を通しスポーツを楽しみ、心身のリフレッシュ、健康の保持増進を図る。 １ 正しいルールのもとで、楽しく身体を動かすことができる。 ２ 健康の維持増進ができる。 ３ 集団での協調性を身につけることができる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	オリエンテーション	（１）　体育の目的、準備運動の計画	講義	非常勤講師 (梶田徳子)
2 3 4	集団レクリエーション	（１）　集団レクリエーションの企画立案、実施	講義と 実技	
5 6 7 8 9 10	集団スポーツ （バレーボール）	（１）　基礎技術 （２）　ルールの説明、チーム分け （３）　ゲーム（6 人制、9 人制）	実技	
11 12 13 14 15	集団スポーツ （バドミントン）	（１）　基礎技術 （２）　ルールの説明（ダブルス） （３）　ダブルスゲーム （４）　順位戦	実技	

評価方法	出席状況、授業態度により評価する
教科書 参考文献	
事前準備や 受講要件等	

授業科目	看護倫理	担当教員	非常勤講師☆ ①津田　雅夫 ②小野　悟	単位数	1	時期	３年次 ９月～１１月
				時間数	３０		

目的と目標	
	現代社会の諸問題を倫理的な観点から考察し、生命の尊さ、人間尊重の態度、人権擁護について理解を深め、医療従事者としての態度を養う。 １ 倫理的判断の基礎を理解する。 ２ 現代社会における倫理学の課題について考究する。 ３ 看護実践における倫理的問題に対し、倫理的視点で分析し、解決方法やアプローチ方法について考えることができる。 ４ 専門職業人としての倫理観を培う。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	倫理学の基本的な考え方	（１）倫理学とはなにか （２）倫理と道徳について （３）人間の持つ二面性 （４）人間観の歴史と基本的人権	講義	非常勤講師 (津田雅夫)
2 3	生命倫理	（１）生命の尊厳と人権問題 （２）臓器移植・脳死からの課題 （３）安楽死・尊厳死からの課題 （４）患者の権利と自律、ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞ・ｺﾝｾﾝﾄ	講義	
4	性と生殖の倫理	（１）性の生命倫理 （２）生殖の生命倫理 （３）クローン問題 （４）不妊治療の課題	講義	
5 6	職業倫理	（１）人権擁護 （２）マスコミと倫理 （３）企業と倫理 （４）看護倫理	講義 演習	
7	専門職の倫理	（１）専門職の倫理綱領	講義 演習	非常勤講師 (小野悟)
8 9 10 11	倫理的問題へのアプローチ	（１）看護実践における倫理的問題の特徴 （２）倫理的問題へのアプローチ法 （３）事例分析		
12 13 14	自分の行った看護に対して倫理的に考える	（１）事例についての看護を倫理的視点で振り返る	講義	
15	試験（１時間） まとめ（１時間）	（１）試験 （２）まとめ	試験 講義	

評価方法	筆記試験（１～６　50 点　、７～１５　50 点）
教科書 参考文献	系看　別巻　看護倫理（医学書院） 講義資料を配付
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと
☆担当教員の実務経験	②専門看護師として勤務した経験を活かした授業展開をする。